

# THE DAY



## NEWS LETTER

2025 / 12 / 1 Noboru Morishige

 YouTube 森繁昇チャンネル



友達、親戚、家族、兄弟姉妹、このレターを読んでくださる皆さん 2025年12月1日

クリスマスおめでとうございます。皆さん、元気にしておられるでしょうか？皆さんが元気にしておられるのを心から願っています。

### ガッハー1

先日、朝方とても寒かったので、今年初めて毛糸の帽子をかぶりました。家の廊下のガラス戸に映った自分を、裏の畑から見て、「どこのジジイ？」かぶった毛糸のボーシの先が空の方に突き出ていて、ジジイそのもの。「こりゃいかん」と素早く、ボーシの両端を持って下の方に引っ張り、てっぺんを丸くし、下の端を5センチくらい上にグルリと折り曲げて重ね、折ったとこが耳の半分くらいにかかるようにしてみた。「どこの青年が来てるんや？」ガッハーハー！息子がそうやってたのを思い出したのですね。長い時がたちました。でも、自分はまだ若いと思ってる。間違いない！笑笑。

### ガッハー2

数日前、電車に乗っていた時です。いつものいで立ち。まあまあ大きなリュックとビオラとマンドリンを電車の出口横のちょっとしたスペースに置いて座っていました。降りる時に、立って、リュックをサー背負おうとかがんだら、そばに立っていたお嬢さんが私のすぐ横で、私と同じようにながんで「何かお手伝いしましょうか？」エッ？「大丈夫ですよ。ありがとうございます」が、とっさに私の口から。彼女の優しい気持ちは感心し

ましたが、彼女が降りた後、「あのお嬢さん、私が、この荷物3つとも抱えて、あの階段を、（イエス様の恵みで）誰よりも速く！スキップで降りれるのを知らんのんやね」と、ひとり言。笑。（低く低くいなさい、ハイ）でも、私が、そんな風には見えてないのは当たり前ですね。「やっぱ、人は、見てくれで、どうしても人を判断する時があるよなあ」廊下のガラス戸に映ったあのジジイを思い出していた。「ガッハーハー！」

### 長い時がたちました。

しかし、まだ、これからです！生きていますから！

裏の畑で、短く切ったイチジクの木を集め、落ち葉と一緒に燃やしてたら、その煙の匂いに、むかしむかしの熊毛町でのことをいくつか懐かしく思い出していました。小学生の頃のことです。私の実家のすぐ下の家は、藤原のおいさん（おじさん）の家。今思い出せば、藤原のおいさんはとてもユニークな人でした。納屋の入り口の戸に、自分が取ったムササビの皮を広げてハリツケていました。おいさんは素手で蛇を取るのが上手で、ハミ（マムシ）を取って、それを一斗缶でいぶしていました。その時は、わからなかつたけど、今考えればあれはスモーク！へーー！おいさんは空気銃を持っていて、時々それを出して撃っていました。ある日、たぶん私が4～5年生頃だったと思いますが、私は、おいさんに、その空気銃をしばらく持たせてもらい、実家の前の丘を越えたと

ころにあった、うちの田んぼのところまで直樹くんと一緒に行きました。藤原のおいさんは、私が空気銃の弾を持っていないので、気軽に貸してくれました。でも重たかったー。私は、高水駅の前の道をもう少し西の方に行ったところにあった金物屋に行って空気銃の玉を買ったんです。そのお金は両親が八百屋で釣り銭として使う10円玉の束が、納戸のタンスの引き出しの中にあったのを取りて使ったのだと思います。あかんでしょう！その時は、稻刈りのあとで、たくさんのズメが田んぼにいました。空気銃はとても重く、ポンプする（空気圧を入れるため、空気銃を半分に折る）のも大変。それを一人で抱えてズメに狙いを定めるなんて不可能。それで私は直樹くんの肩に空気銃の筒を乗せ、そして狙いを定めて打つことにしました。それでも空気銃は重くて直樹くんもじっと立ってすることはできないのです。「直樹、動くな！」と言いながら、ズメめがけて1発撃ちました。

そうこうしているうちに、同級生の藤井のサヨちゃんのお母さんが、私たちがやっていることを見て、「そねーなあぶないことしちょるなんかね、お父ちゃんにゆうぢゃるけーの！」と痛しい声で（厳しい声で）言いました。おとろしくなった私たちは、ズメを撃つどころか、空気銃を持って走って帰り、藤原のおいさんに空気銃を返しました。そして、弾は、私の家と藤原のおいさんの家の間にあった、石垣の穴に全部入れて泥をかけ、見えんようにしました。おとろしかったー！でも、親からはとがめられることはなかった。よかったです。サヨちゃんのお母さんは、そのことを、私の親に言わなかつたんだね。あれは、もう65年くらい前。

### イエス様からの私の役目

私はこのニュースレターをクリスチャンの人々とクリスチャンじゃない人々に出しています。おもに私はクリスチャンじゃない人のことを思って書きますが、それは私のイエス様からの役割なのです。

10月と11月のレターの中で私は、聖書に書かれていることの現実性というか、本当かもしれないといふ人々が思える？感じる？そのような内容を選んで書きました。簡単にその時のメッセージを書いてみます。

10月のレターで、（創世記1章から3章の間に書かれてあるのですが、）一つは、アダムとイブが神の命令に逆らい、食べるなど命じられた善惡の知識の木から取って食べた時から、人は、全てのことに関して、善と惡の判断ができるようになったこと。それと、人間は初めから、誰からも奪われることのない自由意志を神から与えられているということでした。

11月の内容は、人は、神の助けなしには神を知ることができない。そして、神を知るために、人が神の助けを得るようになる為の二つの条件を書きました。一つは、「聖書に書いてある、天と地の創造主なる神が本当なら知りたい。」という心の願いです。二つ目は、「まだ知らない眞の神の前に、自分が正直である」ということでした。

### Born Again 新しく生まれる

人が、神を知るのは人間以上の神の力です。それは、神の、罪人に対する愛とあわれみです。

「イエスは答えて言われた。『まことに、まことに、あなたに告げます。人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。』」

ヨハネの福音書3章3節

「まことに、まことに、あなたに告げます。人は、水と御靈によって生まれなければ、神の国にはいることができません。肉によって生まれた者は肉です。御靈によって生まれた者は靈です。あなたがたは新しく生まれなければならぬ、と、わたしが言ったことを不思議に思ってはなりません。風はその思いのままに吹き、あなたはその音を聞くが、それがどこから来てどこへ行くかを知らない。御靈によって生まれる者もみな、そのとおりです。」

ヨハネの福音書3章5～8節

風が吹いたら人にわかる時のように、イエスを知りたいとイエスを求める時、イエスがわかるようになるのです。

人は、自分の力で神を信じる（知る）ことはできません。イエスの言葉を聞いて、イエスを知りたいという心の願いは、人には見えないです。その願いを知っているのは自分とイエスです。人には見えないその心の耳に、ちょうど、風が吹くように、イエスは語ります。これが、限りある私の説明です。しかし、イエスは、だれでも、イエスを知りたい人の心に語り続けるのです。それは限りがありません。

### 歌 Born Again（新しく生まれた）

Born again 新しく生まれた  
Born again 神の靈で生まれた  
人間の子供として 生まれた後で  
神の子供として 再び生まれた  
ボーンアゲン それは偉大な神のみわざ  
悪魔の暗闇の世界から 神の光の中に

Born again 新しく生まれた  
Born again 神の靈で生まれた  
罪の奴隸となって 生まれた後で  
神に罪赦され 新しく生まれた  
ボーンアゲン それは偉大な神の恵み  
悪魔の死の世界から 神の命の中に

どこからか風が吹いてきて  
野原の全てが踊り出すように  
心の中に神の風が吹いた そして私は  
ボーンアゲン それは偉大な神の御業  
悪魔の暗闇の世界から 神の光の中に  
そして あなたは  
ボーンアゲン 新しく生まれる  
人間の子供として 生まれた後で  
神の子供として 再び生まれる  
ボーンアゲン それは偉大な神の恵み  
悪魔の死の世界から 神の命の中に 命の中に  
I AM BORN AGAIN !!!

### 神の働き

一昨年の11月、琵琶湖の安曇川町で、クリスチャンのSさんがクリスマスコンサートを計画しました。もと日本料理店だったところが店を閉め、そこのオーナーと知り合いだったそのSさんが、そのコンサートを計画。2階の畳の部屋二つを使った会場に全部で7～8人来られたでしょうか。そこに私より一つ歳上の男性二人と、7歳上の男性一人が来られた。どんな過去の持ち主だろう？のように感じさせるお三人、ごめん。佐藤栄作直参秘書のKさん、2万人以上の会員を持っていた政治的内部情報拡散する知識人Tさん、コンピューターの教師をはじめ、いろんな分野でのアントップヌアー（事業開発人）のBさんだ。その翌年から私は「バーベキューと聖書を読む会」を安曇川で始めた。その会に、その三人が来るようになり、そして、今年になって三人は教会に行きはじめました。詳しくは分かりませんが、イエス・キリストの良い知らせを続けて聞いてくださってるようです。嬉しい！イエス様ありがとう！

### 一泊二日の合宿

この2年、私は、帰国する時、大体毎回、泊まりがけで安曇川町に行くことにしていました。この11月末にも、一泊二日でTさん宅へ。楽しい合宿です！笑。去年、生駒のH兄弟にも彼らを紹介して、一緒に行くようになった。今回もH兄弟の運転で。そして、最近、安曇川町から京都の下鴨神社の近くに引っ越ししたBさんを途中でピックアップして一緒にきました。安曇川のTさんは大いに喜んで私たちを迎えてくれた。「この1週間は、ほとんど誰とも話していないねん」と言って、私たちが来て大喜び！カセット・コンロ二つを使って、広い居間でのバーベキューは、大いに盛り上りました。煙?? エッ？ 食べた後、今度は、いろんな話で盛り上がった。Tさんが信じてきた仏教の話と、日本と世界の政治や経済状況と世界の暗闇の力などの話。そして、私の信じているイエス・キリストの福音について、長く熱い

話が続きました。夕方4時ごろに始まった会は、深夜12時過ぎまで続き、本当に楽しく真面目で真剣な話が飛び交いました。

次の朝10時頃、名残惜しい中、Tさんの家を出発。イエス様の御心なら、また来春も来ると伝えて、雨の中、さよならと、車から手を振った。その晩は、京都のBさんの家に泊めてもらって、助けてもらってるライブ・ビデオの打ち合わせをして、しばらくイエスを話した。

### 下鴨神社

私は大学生の時、京都右京区の上桂で2年間下宿していました。中学の時の修学旅行は、京都～奈良。その頃から、京都には、お寺と神社しかないみたいに聞いていましたが、過言ではなかったと思います。そして今回泊めてもらったBさんの家は、下鴨神社から歩いて1～2分のところでした。

翌朝、早く目が覚め、薄暗い6時半頃から散歩。Bさんから聞いていた下鴨神社の方に歩いて行つたらすぐについた。濃いオレンジ色の、どでかい鳥居をくぐったら、薄暗い中、あちらこちら、何人かが黙歩。原生林のように、太く、大きく背の高い木がそこら中を埋め尽くし、その中に、切石を端にならべた広い通りや広場があり、真砂土がビッシリと敷いてある。どでかい建造物から比較

的小建造物まで、全て、一寸たりとも狂わず、それも最上質のどでかい木で、多くの人の技術と時間と労力をかけ、そして、多大な金をかけて作られた物であることは一目瞭然！歩いているほとんどの人が、いろんな建造物の前で、二度手を叩き、お辞儀してゐる。ある人は、頭を垂れて何か念佛のようなものを唱えていた。とてつもなく広い!! 昔のある人々の脅威と権力によって作られた物という感覚をありありと感じた。この神社の記録のほとんどは6世紀7世紀から記されているようだが、BC80年頃の記録も見つかったと書いてあった。

私は、思い出していた。私が、初めて、イエスから語りかけられた時のこと。聖書の神がもし本当なら、何千年もやってきた日本の仏教や神道は間違っていたのか？そんなはずはない！日本人が間違っているはずがない！日本のすべてのしきたりや風習や宗教が、日本のすべての教育が、私の家族をはじめすべての日本人が間違ってるはずがない！イエスのことを聖書を読んで、考え、思ったこと、52年前のあの時感じたあの気持ちを、この朝、下鴨神社で思い出していた。

続く……



### 秋・冬の LIVE Information

12月にいくつかコンサートがあります。近くであるようでしたら、友達を誘って聞きに来てください。  
お会いできるの楽しみにしてます。

|                |          |                   |                   |
|----------------|----------|-------------------|-------------------|
| 12月6日(土)7日(日)  | 新里チャペル   | 群馬県桐生市新里町新川 527-1 | 0277-47-6049 (八町) |
| 12月10日(水)午前10時 | 群馬キリスト集会 | 群馬県高崎市金古町 190-1   | 027-372-6961      |
| 12月14日(日)午後1時  | 厚木キリスト教会 | 神奈川県厚木市妻田北 4-7-7  | 046-222-3379      |

### ザ・ディ／森繁 昇

〒744-0019 山口県下松市桜町2丁目17-24  
FAX▶0833-91-6492  
E-mail▶thewindisblowing@hotmail.com  
振替口座▶01330-4-93687 ザ・ディ

HP / [thedaywill.com](http://thedaywill.com)

Noboru Morishige  
P.O.BOX 1666  
KEAAU, HAWAII 96749 U.S.A  
TEL ▶ 808-966-9252

